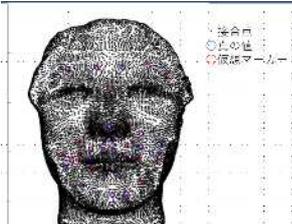


令和3年度 臨床研究テーマ成果報告書

診療科（部）名：矯正科
第3期中期目標・中期計画期間中の臨床研究テーマについて該当するものにチェックを入れてください。（塗りつぶし可）
<input type="checkbox"/> 1. 口腔領域における新規組織再生・再建法の開発 <input type="checkbox"/> 2. 高齢者の特性に配慮した口腔疾患の予防法・診断法・治療法の開発 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 顎口腔機能の維持増進に関する研究 <input type="checkbox"/> 4. 歯科医学臨床教育の質保証に関する研究 <input type="checkbox"/> 5. その他
研究期間：2019年4月～
研究課題名：口唇閉鎖不全を有する患者における咀嚼時顔面軟組織運動の様相
<p>研究課題の概要及び成果：咀嚼運動時の口唇部・頬部など口の外側の軟組織の協調運動である「咀嚼時顔面軟組織運動」は口腔機能の確立において重要であるがそれを客観的に評価する方法は存在しない。口腔機能獲得時に、口を開けたまま食べる・口から食べ物をこぼすといった問題を有する患者が一定数存在し、口唇閉鎖不全はそれらの原因の一つである。当研究では、咀嚼時顔面軟組織運動の客観的評価法を確立すること、および口唇閉鎖不全を有する患者とそうでない患者で、咀嚼時顔面軟組織運動の様相に違いがあるか否かを明らかにすることを目的とし、ステレオフォトグラメトリー式の三次元顔面軟組織形態計測システムを用いて撮影した咀嚼時顔面軟組織形態画像から、相同モデル化手法を用いて、マーカレスで咀嚼時顔面軟組織運動を計測するシステムを構築した。次にデンタル綿を口腔前庭におくことで口唇閉鎖不全の状態を模倣した口唇閉鎖不全モデルを用いた実験を行い、相同モデル上の解剖学的特徴点を用いて、口唇閉鎖不全の有無を表現する変数を抽出した。</p>
上記概要・成果に関連する図表等

当該臨床研究が「口の難病プロジェクト」に関連しているか否か下記のBOXのいずれかにチェックを付してください。（塗りつぶし可）
<input type="checkbox"/> 関連がある <input checked="" type="checkbox"/> 関連はない